

令和 6 年度

## 「運営に関する計画」

大阪市立今福小学校

令和 6 年 4 月 2 4 日

大阪市立今福小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

**現状と課題**

1 はじめに

○ 大阪市教育局振興基本計画の基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

○ 令和5年度末に大阪市教育局振興基本計画が見直されたことを受けて、令和6年度は本校の課題をより精選し、重点的に取り組むこととする。

2 子どもたちの最善の利益のために

**【安全・安心な教育の推進】**

○これまでの家庭・地域・学校が協力して教育活動にあたってきた成果が出ている。

・令和5年度全国学力・学習状況調査では、

「学校に行くのは楽しいと思いますか」肯定的回答の割合：92%

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」最も肯定的な「思う」と回答する割合：92%

「自分にはよいところがありますか」肯定的回答の割合：92%

いずれも令和7年度の大阪市の目標をクリアしている。

しかしながら、大阪市学力経年調査の結果（「2 中期目標の達成に向けた年度目標」参照）からは、年度や学年によって同様の質問での肯定的な数値が低く、課題が見られる部分もある。

特に自尊感情に関わる部分の数値に課題が見られることから、今年度も体験活動による豊かな心の育成に取り組むとともに、集団登校や縦割り班、異学年での活動等を多く取り入れることで自己有用感を高め、「自分にはよいところがある」ことを実感できるようにする。

○「いじめ」や「不登校」の課題については、年3回の児童アンケート調査や「心の天気」による日常の児童観察、毎月の校内委員会での情報共有を通して、早期発見・早期解決につながる体制が構築されているが、引き続き、人権を尊重する教育を進め、安全・安心な教育環境の実現をめざす。

○本校には支援を要する児童が多く在籍していることから、引き続き、インクルーシブ教育の充実と推進に向け、合理的配慮に基づく学習環境の整備を進める。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○ 本校は「学力向上支援チーム事業」重点支援校として、「国語」を研究教科とし、スクールアドバイザーによる授業力向上への支援を得ながら、国語を中心とした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んで3年目となる。

令和6年度においても、すべての学習の基盤となる言語能力の育成を継続して行い、自分の考えを持ち、表現する時間をしっかりと取り、友だちの考えと自分の考えを比べて共通点や異なる点を見つけていく活動や、様々な視点から自分の考えをより、まとめていく活動を取り入れるよう授業改善を行う。

- 基礎・基本の学習を積み重ねていき、自分に合った目標をもって ICT を活用しデジタルドリルに取り組んだり、漢字検定にチャレンジしたりするなど意欲をもって学習できるような環境を整えていく。
- 自主学习ノートの使用や、タフスペシャル教室の取り組みを通じて自ら学習する姿勢を身につけられるようにする。
- 外国語（英語）については、中学校の学習内容が小学校に下りてきている現状を踏まえ、1年生から6年生までモジュール学習を確実に行之、また外部講師を招く機会も増やすなど、意欲的に学習できる環境を作っていく。
- 体育科の授業改善については、経年調査の結果からもわかるように本校の児童は、運動することは非常に好きである。その好きな部分をより伸ばし、自己肯定感の向上につなげていきたい。大阪市体育部などの協力を得ながら、体育実技研修会を行っていく。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 教育におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進のため、新たに「令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。」という目標が設定された。  
学校での学習指導場面だけではなく、家庭での学習や、学習者端末での図書の閲覧など、ICTの効果的な活用について進めていく。
- 教員の長時間勤務については、本校は教職員の努力と保護者・地域の協力のもと令和7年度目標を達成している状況であるが、今後、学校環境整備に関する業務の追加も予想される。  
さらなる業務の効率化や均等化を図り、より児童に関わる時間を確保し、授業の改善につなげていけるようにしていく。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は令和5年度：71.6% 令和4年度：79.6%と、令和7年度目標の76.5%を達成できる水準にある。ただし、貸出冊数となると、令和7年度目標の38冊に対して、令和5年度23.5冊となっている。より児童が本を手取る機会を増やせるように、電子書籍サービスの活用も視野に入れながら取組を進めていく。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 1 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和5年度：92% 令和4年度：95.7%)
- 2 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(令和5年度：92% 令和4年度：100%)
- 3 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(令和5年度：92% 令和4年度：91.3%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。(令和5年度：40% 令和4年度：47.8%)
- 2 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を65%以上にする。(令和5年度：57.6% 令和4年度：59.3%)
- 3 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62.6%以上にする。(令和5年度：55% 令和4年度：72%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 1 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
  - 2 令和7年度の教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を56.4%以上にする。(令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%)
- ※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下
- 3 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76.5%以上にする。(令和5年度：71.6% 令和4年度：79.6%)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。【中期：85%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	88.9%	83.3%	72.2%	96.0%	85.9%
令和4年度	91.3%	79.0%	95.8%	86.4%	88.7%

- 2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。【90%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	83.3%	91.7%	72.2%	84.0%	83.5%
令和4年度	87.0%	78.9%	83.3%	90.9%	85.2%

- 3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。【中期：77%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	77.7%	70.9%	66.7%	88.0%	76.5%
令和4年度	86.9%	63.2%	75.0%	81.8%	78.9%

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。【中期：35%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	66.7%	41.7%	27.8%	36.0%	42.4%
令和4年度	52.2%	26.3%	41.7%	50.0%	36.1%

- 2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。【中期：65%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	88.9%	41.7%	44.4%	60.0%	57.6%
令和4年度	73.9%	63.2%	70.8%	27.3%	59.3%

- 3 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。【62.6%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	77.8%	83.3%	66.7%	76.0%	76.5%
令和4年度	78.3%	63.2%	83.3%	77.3%	76.2%

**【学びを支える教育環境の充実】**

1 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（令和6年度新規目標項目）

2 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を90%以上にする。（令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%）【中期：56.4%】

※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。【中期：76.5%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	88.9%	70.8%	66.7%	60.0%	71.6%
令和4年度	82.6%	78.9%	75.0%	81.8%	79.6%

(様式2)

## 大阪市立今福小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p> <p>2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。</p> <p>3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【2 豊かな心の育成】</p> <p>豊かな心を育成し、自己肯定感を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど体験活動を充実させる。</p> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>一人ひとりに寄り添う丁寧な指導を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制を整える。</p> <p>指標</p> <p>・年度末児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p> <p>・年度末児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点



年度目標	達成 状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。</p> <p>2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。</p> <p>3 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を進める。</p>	
<p>指標 年度末児童アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>全学年で、児童がより英語に親しめるように、モジュール学習の充実や外部講師を招いた学習を増やすなどして英語活動の取組を進める。</p>	
<p>指標 年度末児童アンケートにおける「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。</p>	
<p>指標 年度末児童アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点	
年度目標	達成



	状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>1 授業日において、児童の８割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にする。</p> <p>2 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を９０％以上にする。</p> <p>※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、４５時間を超える月数０、かつ、１年間の時間外勤務時間が３６０時間以下</p> <p>3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７５．５％以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【６ 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>心の天気による児童理解や授業や家庭での学習等において、学習者端末の効果的な活用について研究する。</p> <hr/> <p>指標 授業日において、児童の８割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にする。</p>	
<p>取組内容②【７ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIP の活用などによる業務改善を進めていくことで、勤務時間の適正化を図る。</p> <hr/> <p>指標 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を９０％以上にする。</p>	
<p>取組内容③【８ 生涯学習の支援】</p> <p>図書館の開館時間を増やしたり、読み聞かせをしたり、電子書籍サービスを活用したりして、読書への関心を高める取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７５．５％以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点